

人と魚と海のネットワーク  
香川県漁連ホームページ  
http://seaclub.power.co.jp/  
E-mail:gyoren@power.co.jp



**JF** 高松市北浜町 8 - 25  
TEL 087-825-0350  
J F 香川漁連 FAX 087-851-0699

## ウマツラハギ好漁

毎年3月15日から、三豊地域では小型定置網漁が始まるが、今年は豊浜から詫間にかけての11漁協で(志々島漁協に2統あるが平成13年から休漁)、104統の網が張られている。小型定置網の春漁の主力魚種はウマツラカワハギ(以後はカワハギと記す)であり、毎年、カワハギは3月末頃からポツポツ獲れだし、水温の上昇とともに漁獲量が増えだし、4月29日のみどりの日から5月の連休にかけてが漁獲の最盛期である。今年は漁期が早く、漁獲は好調で、4月11日に、ハマチ養殖小割網清掃用カワハギ5,500kgを直島に向けて初出荷した。

カワハギは、水深100m以浅の岩礁域や砂泥底域に大きな群れをつくって生息し、北海道以南、東シナ海から南アフリカまで分布する。以前は房総半島など一部の地域で食べられていただけだったが、1970年代から80年代半ば頃の異常繁殖を機に、各地で利用されるようになった。三豊地域でも昭和50年前後に異常繁殖し、それまで各魚市場へ出荷、魚屋が生食用や煮付け魚として販売する程度であったが、それでは追いつかず、漁業者の要望で、本会販売事業部がハマチ養殖小割網の掃除用として、ハマチ養殖業者に斡旋したり、加工業者向けに販売をして、捌きだした。その後、カワハギの漁獲量は好、不漁を繰り返し、昭和62年頃の漁獲量をピークに、その後は次第に減少していたが、今年は、久方ぶりに好漁が期待できそうだ。

小型定置網漁業者も、今年はカワハギの他にマダイやチヌもかなり多く獲れると顔をほころばせながら話してくれた。



蓄養しているカワハギを活魚船に積込する作業

カワハギの獲れ初めは魚体も大きく、30cm以上もあるものは1尾1,000円位で取引され、漁獲量も少ない。水温が上昇とともに、漁獲量も増えるが、価格は安くなる。現在、伊吹魚市場では1業者50尾の出荷にとどめ、価格維持をしている。残りのカワハギは選別機にかけて大と小に選別し、ハマチ養殖向とし小割網で蓄養、ある程度量がたまれば漁連から活魚船が手配され、ハマチ業者に引渡される。大量に獲れた昭和62年頃は、市場出荷向・ハマチ養殖・加工用に分けて蓄養するための蓄養小割網を4~5日に1台ずつ増設するのに漁業者がおおわらわであったが、今年もこの先、小割増設の共同作業に追われ浜が活気づくことを期待したい。

## 職員協代議員会開催

平成十四年度事業計画決まる  
4月23日(火)午前10時30分から漁連会館6F大会議室において、香川県漁協職員協議会の平成14年度代議員会が開催された。



### 熱心に協議する漁協職員達

大廣会長、来賓挨拶の後、議長に中野参事(池田漁協)を選出して議事にはいり、上程議案の平成13年度事業報告書、収支計算書承認の件、平成14年度事業計画、収支予算設定の件、会費の賦課並びに徴収方法の件は、いずれも原案どおり可決承認された。

平成14年度の事業計画の概要は、次のとおりである。

#### 1. 福利厚生事業について

会員の福利厚生面をより充実させるため、引き続き次の事業を推進する。

(1) 生活習慣病予防検診

- 2. 研修会等について
  - (1) 漁協職員交流集会
  - (2) パソコン研修
  - (3) 先進地研修
    - (1) については6月2日(日)にユニバーサルスタジオジャパンで実施する。
    - (2) については漁連電算課の協力を得、パソコンの入門・実践について希望者20名を募集し、実施する。
    - (3) については広域合併を行った先進地漁協において実施する計画である。
- 3. 会費徴収について
 

昨年同様漁協等は1万円、会員は3千円を徴収する。

その他として、漁協役職員が一丸となって、人権普及啓発運動に取り組むことを決定した。

4月25日(木)午前10時から漁連会館6階大会議室において、香川県漁協婦人部連合会の平成14年度通常総会が開催された。

岡田会長、来賓挨拶の後、議長に白井鴨庄漁協婦人部長を選出して議事にはいり、上程議案の平成13年度事業報告及び収支決算承認の件、平成14年度会費の賦課及び徴収方法承認の件、第45回香川県漁協婦人部大会の開催・運営の件は、いずれも原案どおり可決承認された。その後、役員改選で次の方々が新役員に選出された。

**香 川 県 漁 婦 連 役 員 氏 名**

役 員	氏 名	所属婦人部名
会 長	岡田 和子	庵 治
副 会 長	白井エイ子	鴨 庄
"	一田 初美	四 海
運営委員	大坪 道子	津 田
"	橋本 信子	女木島
"	竹田 貞子	内 海
"	西川恵美子	与 島
"	大平 準子	仁尾町
会計監事	西川 清子	丸亀市
"	大北 永吏	三 崎

平成14年度の事業計画の概要は、次のとおりである。

**1. 組織の活性化と活動力の強化**

- (1) 男女共同参画の確立に向けた取り組みを行う。
- (2) 婦人部長・事務局担当者合同会議を開催し、

直面する問題や活動課題への対応を決定し実践する。

- (3) リーダー・事務局担当者合同研修会を開催し、リーダーの育成や知識の習得に努める。
- (4) 婦人部大会を開催し、重要活動課題に対する県下婦人部の意志統一を図る。
- (5) 婦人部間相互の交流および活動停滞の婦人部への働きかけを行う。
- (6) 青壮年部等の関係団体との連携・交流を深める。

**2. 生活改善と健康管理の推進**

- (1) 香川県(農林水産部)や関係団体の指導・支援を得ながら、漁家生活の改善をすすめる。
- (2) 引き続き、家計簿の購入斡旋(助成措置)と普及推進を図り、堅実な生活習慣を呼びかける。
- (3) 関係団体等が主催する研修会、学習会へ参加し、知識・情報の習得と各浜での普及をすすめる。
- (4) 行政(市・町)が行う健康診断の受診を呼びかけるとともに、婦人部で開催する研修会等における学習用器材の積極的活用を図る。

**3. 海を守るための合成洗剤追放・天然石けん使用推進運動**

- (1) 漁協をはじめ関係団体と連携して、海岸清掃の実施など地域の環境保全・美化に努める。
- (2) 県内の各種女性団体や消費者団体で構成する「瀬戸内海を守る連絡会議」のメンバーとして、環境問題に関するイベント等へ参画し、啓発活動を行う。
- (3) 天然石けん「わかしお」の購入斡旋(助成措置)と地域ぐるみでの使用推進を行う。(本年度普及率目標65%設定)
- (4) 環境問題についての情報収集や知識の習得に努める。(合成洗剤の有害性)
- (5) 婦人部の会合や地域でのイベントに対し、保有する学習用器材の積極的活用を図る。

**4. 魚食普及活動の推進**

- (1) 関係団体等の指導・支援を得ながら、地域イベントへ積極的に参加し、地場水産物のPR活動と消費拡大を図る。
- (2) 婦人部が実施する青空市および水産まつり等イベントへの参加に対し、助成措置を含む支援を行う。
- (3) 関係団体が行う水産資源管理活動や研修会に参加し、魚についての知識習得に努める。
- (4) 漁協等が運営する施設での朝市・日曜市に参

平成十四年度県漁婦連通常総会開催



加し、魚食普及をすすめる。

5 . 漁協系統運動への参加・協力

- ( 1 ) 年末・年度末漁協貯蓄特別運動に参加するとともに、漁協・信漁連で企画する貯蓄商品への加入・推進に努める。(本年度漁協系統貯金目標の達成に協力する。)
- ( 2 ) 重点推進項目(漁協積立、年金、各種公共料金、カード普及等)の加入・推進に努める。
- ( 3 ) 信用事業のほか各事業(購買・販売・共済事業等)にも積極的に参加し漁協の全利用に努める。
- ( 4 ) 組織基盤の整備・強化(事業統合・合併)の取り組みへの理解を深め、その推進に協力する。
- ( 5 ) 全国運動として、引き続き漁船海難遺児育英募金活動に取り組む。

6 . 諸会議および催しへの参加

上記 6 項目が重点推進事業であるが、その中でも特に、男女共同参画の確立に向けた取り組みを推進するとともに、天然石けん「わかしお」の購入斡旋(助成措置を 1 袋当り 9 0 円から 1 1 0 円にアップする)と地域ぐるみでの使用推進、漁協等が運営する施設での朝市・日曜市に参加し魚食普及推進事業等に積極的に取り組む事が決定され、無事総会を終了した。



主催者挨拶をする岡田会長

# シリヤケイカについて

4 月 2 0 日からイカだし網漁が始まるが、その主要漁獲物であるシリヤケイカについて紹介する。シリヤケイカは、分類的には頭足綱コウイカ目コウイカ科に属し、コウイカやカミナリイカ、ミミイカと同じ仲間である。春に産卵のため瀬戸内海に回遊して来て砂泥の海底近くに生息する。沿岸の海藻、沈木に産み付ける。秋、水温低下とともに両水道あたりへ移動し、また、翌春来遊する。胴長 1 2 cm ぐらい。背中には雪が降ったような白点を散らした模様

がある。他のコウイカ類がもつ甲の後端の棘を欠くことから、(ハリナシコウイカ)の別名がある。

棘のないかわりに胴の後端に孔が開いていて、ここから褐色の液を出すので、白い腹部の後半はすすけたように汚れている。これが和名の由来で、漁師は<シリクサリ><ツベグサレ>などともいう。ツベとは尻のことである。

イカだし網漁が始まると、市場にシリヤケイカの墨で真っ黒に汚れた発砲スチロール箱が、山と積まれている光景が見られるようになる。

房総半島以西の全国にすみ、瀬戸内近海では、ほぼ同時期に獲れるので、あちらこちらから市場へ送られてくるのでこの光景になり、相場も安くなってしまふ。肉質はややかたい。

シリヤケイカが大量に獲られていた昭和 5 0 年代前半迄は、本会でもムキイカの加工をしていたが、その後の資源減少と輸入アカイカに押され加工する所はなくなった。料理法としては、刺身、木の芽和え、照り焼き、天ぷら、すしの具にされる。イカ墨が多く上手にひらかないと炊事場がスミだらけになるので、シーフードかがわ 2 1 発行の“お魚便利帳” 1 6 頁ハリイカのひらき方を参照してひらかたい。また、イカをひらく時には塩水で処理すれば、イカスミをつぶしたり、薄皮を剥く時は便利である。



## 主な行事予定 (5/1 ~ 5/31)

- 5 月 4 日(土) ふれあい「建干網」2002 in かがわ\*
- 5 月 1 4 日(火) 平成 14 年度水産施策説明会
- 5 月 2 0 日(月) 共水連運営役員会
- 5 月 2 2 日(水) 漁連理事会
- 5 月 2 9 日(水) 香川県信用基金協会通常総会
- 5 月 3 1 日(金) 香川県漁業共済組合理事会